

ふくい ネットワーク 社会福祉

9
No.373



温故知新 ～一途に社協道～

「地域ブランドショップ」でまちを元気に

平成大野屋 支配人
前田 英樹 さん (大野市)

平成大野屋は市民のアイデアで生まれた会社です。きっかけは「市と同じ姓を持つ『大野さん』を大野に招待して大野の良さを知ってもらおう」ということから始まりました。そして、平成11年に市民参加型の第三セクター方式による地域おこしの会社として「平成大野屋」が設立されました。

社名は、大野の七代藩主土井利忠公が独自の創意と熱意で様々な藩政改革に取り組み、そのひとつとして全国に大野の特産品を扱う「大野屋」を開店させたことに由来します。さながら、今でいうチェーン店「大野屋」といったもので、店では生糸等の特産品を販売して全国に大野をPRしたんです。幕末にも関わらず大きな視野で物事を考え、実行する事で藩の財政危機を救ったそうです。そこで、現代の「大野屋」も幕末の手法と進取の精神に習い「平成大野屋」と命名されました。

平成大野屋では市民の「まちづくり・人づくり」の意識を高め、市のイメージアップを図るための様々な企画を市民と一緒にすすめています。

今は、「地産地消」を中心に産地の強みを活かした地場の特産品に力を入れていて、大野にしかない商品を提供するために一軒、一軒農家等に足を運びバラエティに富んだ商品の開拓を心がけています。良いものを提供するために時には厳しいことも言いますが、それも生産者と販売する側の人間関係があるからこそです。今まで築き上げてきた信頼関係と郷土愛の精神で日々、切磋琢磨しています。

私の役割は、将来や一歩先を見つめ、全国に大野の良さを発信すること。そして、多くの人が大野を訪れたり、大野に行きたいと言ってもらえるようなまちづくり・人づくりをすすめることが使命だと思っています。

「じっと待ってたって、誰も来てくれんのでお。」



「地域支え合い体制づくり人材育成事業」の概要

7月14日に閉会した6月定例県議会において、平成23年度の県の6月補正予算が成立しました。その中の新規事業の一つである「地域支え合い体制づくり事業」は、地域のつながりの希薄化による高齢者等の孤立や日常生活の不便・不安をなくすため、地域住民等の「つながりの力」を活かした支え合い・助け合いの体制づくりを支援するものです。本会では、この補助事業を活用し、今年度「地域支え合い体制づくり人材育成事業」を実施します。

福井県「地域支え合い体制づくり事業」について

昨年度、高齢者の所在不明問題に端を発し、一人暮らし高齢者の孤立死等、高齢者が地域で孤立している実態が明らかになりました。

また、移動手段を持たない高齢者等で日々の買い物にも困難を抱えている「買い物難民」が全国で推計600万人いるとして社会的にも大きな問題となるなど、日常生活の不便さや不安をどう解消するか、そのための仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

「地域支え合い体制づくり事業」は、こうした背景を受けて、平成22年度国の補正予算において、介護等高齢者の生活の安心の確保への取り組みとして、地域の日常的な支え合い活動の体制づくりを行うことを目的に「介護基盤緊急整備等臨時特別基金」に本事業分として総額で200億円が積み増しされ、各都道府県に交付されたものです。

福井県では、3億円が交付され、この基金を活用し、「要支援者情報

の把握」や「地域住民による見守りネットワークの構築」、「日常生活を支援するサービスの立ち上げ」等に取り組みする市町からの事業提案（平成23年度事業）に基づき補助金を交付するものです。

また、県社協も、これを活用し、今年度広域のかつ専門的に意識啓発や人材育成等を行う「地域支え合い体制づくり人材育成事業」（以下、「人材育成事業」）を実施します。

県社協が実施する「地域支え合い体制づくり人材育成事業」

この人材育成事業は、地域における支え合いを担う人材を年齢や世代を越えて育成するものです。具体的には、広く県民に対して、地域福祉の担い手としての自覚を育み、近隣のさりげない見守りやふれあいから日常生活の中での生活支援や相談まで、県民それぞれのライフスタイルや意欲に応じた支え合いにおける「役割」と「出番」を提供するため意識啓発事業および地域福祉を担う人材の養成研修に関する事業を実

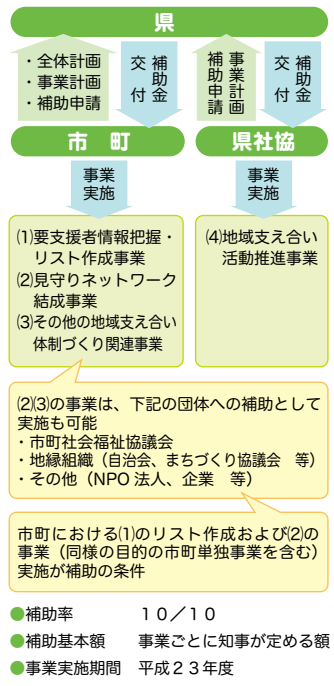
地域支え合い体制づくり事業 概要

■ 事業の目的

地域のつながりの希薄化による高齢者等の孤立や日常生活の不便・不安をなくすため、地域に残る「つながりの力」を活かした、要支援者情報の把握、地域住民による見守りネットワークの構築、要支援者の日常生活を支援するサービスの立上げ、地域住民の交流の場づくり等を支援し、地域での支え合い体制づくりを促進する。

■ 事業の実施体系

【地域支え合い体制づくり事業補助金】



■ 事業実施体系のイメージ



（福井県健康福祉部地域福祉課提供資料）

施します。

従来から市町村協においては、地域住民を対象としたさまざまな講座や研修等が行われてきましたが、地域福祉の担い手としての自覚を育んだり、段階的に地域福祉人材のレベルアップを図るための効果的な手法やカリキュラムが標準化されていないなどの課題がありました。

そこで、今年度は、その基盤整備として、市町村協ごとに、地域福祉の担い手の現況に関する調査を行い、各市町の地域状況に基づいてどんな人材がどれくらい必要かといった計画を策定することとしています。

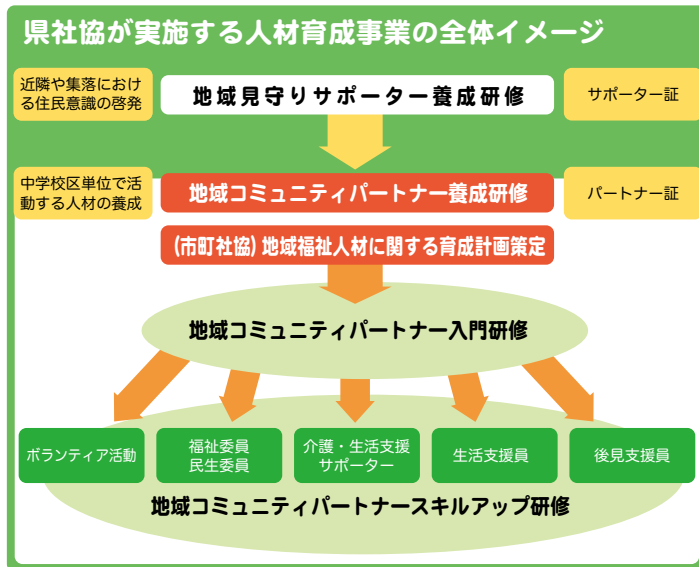
また、県社協では、次の二つの地域福祉人材養成のための研修カリキュラムを検討することとしています。

一つ目は、「地域見守りサポーター養成研修」です。これは、中学生以上の一般県民を対象に、日常生活の中で、お互いを気にかける、近隣のちょっとした異変を見逃さずことなく橋渡しできるように意識啓発を図るものです。

二つ目は、「地域コミュニティパートナー養成研修」です。これは、従来から市町村

協が実施している地域住民を対象とした講座や研修等の体系化を図り、個々の事業ごとに協力者を養成してきた現状を見直し、地域福祉人材というトータルな視点で地域福祉全般の学びを通じた意欲の向上と、意欲に応じた活動をコーディネートするものです。

県社協では、今年度、これら二つの養成研修の標準的なカリキュラムの検討と指導者の養成を行い、来年度からの市町村協ごとの実施に向けて、取り組んでいくことにしています。



生活復興支援資金（生活福祉資金貸付制度）のお知らせ

東日本大震災により被災した低所得世帯に対して、当面の生活に必要な経費等を貸付け、生活の復興を支援するため、生活福祉資金貸付制度に新たに生活復興支援資金を設け、相談受付を実施しています。

（貸付対象者） 東日本大震災により被災した低所得世帯（被災したことにより低所得世帯となった場合も含む）の方
（貸付内容）

種類	貸付上限額	据置期間	償還期間
● 一時生活支援費 (生活の復興に必要な当面の生活費についての貸付)	(二人以上世帯) 月20万円以内 (単身世帯) 月15万円以内 貸付期間：6か月以内	最終貸付日から2年以内	
● 生活再建費 (住居の移転費、家具什器等の購入に必要な費用の貸付)	80万円以内	貸付日（一時生活支援費とあわせて貸し付けている場合は、一時生活支援費の最終貸付日）から2年以内	据置期間経過後20年以内（金額に応じて設定）
● 住宅補修費 (住宅補修等に必要な費用の貸付)	250万円以内		

（貸付条件等） ● 連帯保証人：原則1名（ただし、連帯保証人を立てられない場合でも貸付可能）

● 貸付利子：無利子（連帯保証人が立てられない場合は年1.5%）

（必要書類） ● 健康保険証、運転免許証、住民票など、借入申込者の氏名および住所（現在の居所または転居予定先の住所）が確認できるもの。

● 課税（非課税）証明書、源泉徴収票など、借入申込者の世帯の収入状況が確認できるもの。

● り災証明書、被災証明書など、東日本大震災により被災したことが確認できるもの。

● 生活再建費および住宅補修費の貸付けの際には、見積書など、必要とする費用が確認できるもの。後日、領収書の提出が必要。

● その他、必要と認められるもの。

（お問い合わせ） 福祉のまちづくり推進課まで TEL(0776) 24-4987

セミナー参加レポート 「都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー」

去る7月28日～29日に開催された「平成23年度都道府県・指定都市社会福祉協議会常務理事・事務局長セミナー」（神奈川県葉山町）の概要をレポートします。

特に、今回のセミナーは、東日本大震災における被災地に対する支援活動の現状と今後の取組みを整理すること、また、社会保障制度改革の中で県社協が担う役割や活動を考察することが大きなテーマとなっていました。

◆震災対応の中間総括

全社協では、震災が発生した3月11日の翌日（12日）に「福祉対策本部」を設置し、初動体制を整え、



全国社会福祉協議会 小林副会長の挨拶

3月15日には、都道府県・指定都市ブロック幹事県市社協会議を開催して、全国の社協職員を被災県に派遣することを決定しました。

以後、7月末時点で、全国から延べ2万5千人以上の社協職員が、被災各県で支援業務に従事しています。

◆震災対応の課題を協議

一方、被災地では、緊急・応急的な支援から生活支援・再建へとニーズが変化していることから、「災害ボランティアセンター」から「災害復興ボランティアセンター」へと機能を転換する動きも始まっています。

これに伴い、9月以降の全国の社協による支援については、北海道・東北ブロックや被災地に近い地域からの派遣を基本に、個別調整による支援体制を整備していくことが確認されています。

続いて分散会討議が設けられ、これまでの支活動援に対する被災県社協からの謝意が述べられるとともに、被災地の市町社協が息の長い支援を求めていることなどが報告され

◆社協の役割と機能を確認

そのほか、派遣人数、派遣費用に係る財源の確保、効果的な支援体制のあり方などについて、積極的な提案や意見交換が行われました。

その中で、本県からは、3月23日以降、市町社協の協力を得て、切れ目のない職員派遣（7月末時点で延べ820人）や被災地の状況に合わせた専門的支援を行っていることを紹介しています。

分散会討議に先立って行われた同志社大学の上野谷加代子教授の講演では、「被災地支援活動から学ぶ社協の役割と課題」と題して、「助け上手、助けられ上手」を指向することの大切さや社協が地域でつながり（国民協働・公私協働・公民協働）

づくりのための「場」を創っていく機能を強化すべき点での示唆がありました。

そして、こうした地域福祉活動や社協活動を展開していくための専門性の発揮は言うまでもなく、平時・災害時も含めたボランティアセンターの機能強化や福祉教育・ボランティア学習の機能強化の必要性についても教示がありました。

また、「社協については、地域で良い実践や取り組みをたくさんしているにも関わらず、住民にそのことが知られていない」として、「もっとPR上手になるべき」との指摘もありました。

セミナーではこのほか、社会保障改革の全体像をマクロの視点から学ぶ講演（駒村康平慶応義塾大学教授）も企画されました。

未曾有の被害をもたらした今回の東日本大震災では、被災地における支援活動や支援のための体制づくりについて多くの課題が明らかになってきました。

その一方で、これまで社協が住民とともに地域福祉の基盤づくりをすすめてきたことの意義を再確認し、これからの活動や取り組みのあり方に対して多くの課題を投げ掛ける機会になりました。

福祉サービス第三者評価保育所版評価基準の改定

平成20年8月に保育所保育指針が改定されたことに伴い、今般、保育所版の福祉サービス第三者評価基準が改定されました。特に保育所固有の評価項目が以下の3つの柱を軸に24項目に再編されました。

また、高齢者施設・障害者施設・児童施設の基準についても一部変更されました。改定された評価基準の詳細や福井県における第三者評価の状況については下記ホームページをご覧ください。

福井県社協第三者評価推進
ホームページ

<http://www.f-shakyo.or.jp/static/00000301/>

1 保育所保育の基本 (11項目)	(1) 養護と教育の一体的展開 (5項目) (2) 環境を通して行う保育 (5項目) (3) 職員の資質向上 (1項目)
2 子供の生活と発達 (9項目)	(1) 生活と発達の連続性 (3項目) (2) 子供の福祉を増進することに最もふさわしい生活の場 (4項目) (3) 健康および安全の実施体制 (2項目)
3 保護者に対する支援 (4項目)	(1) 家庭との緊密な連携 (4項目)

福祉サービス第三者評価普及・啓発セミナー 開催！

～福祉サービスの質の向上に向けて、第三者評価制度を理解、活用しよう～

福祉サービス事業所の役職員や経営者の方々を対象に、第三者評価制度の理解を深めていただくためのセミナーを下記のとおり開催します。サービスの質の向上へ向け、ぜひセミナーにご参加ください。

セミナーでは、第三者評価制度の意義や質の向上に向けた効果等についての講演とともに、これまで受審された施設から、受診後の取組みや感想などが発表されます。

日 時 平成23年10月20日(木) 13:30～16:20

会 場 サンドーム福井 103、104 会議室

対 象 者 福祉サービス事業所職員または経営者の方

定 員 50名

内 容 **講演** 「第三者評価によるサービスの質の向上について」(仮)

講師 中部学院大学 社会福祉学科 教授 飯尾 良英 氏

報告 「第三者評価を受審して」足羽東保育園、特別養護老人ホーム あさむつ苑

参加費 1,500円

募集締切 10月7日(金)



お問い合わせ先 福祉サービス支援課 TEL (0776) 24-2347 E-mail hyouka@f-shakyo.or.jp

の輪』推進運動実施中！

～県民をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～

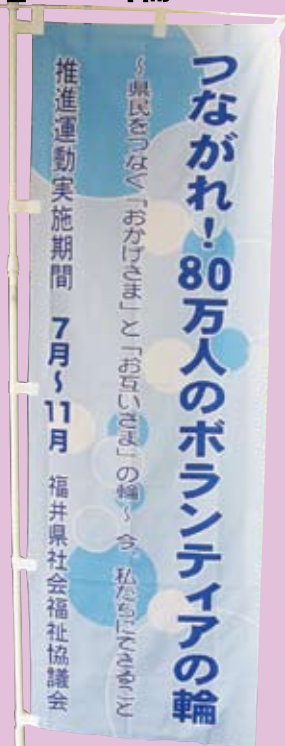
本会では、ボランティア月間制定20周年を迎えた昨年度から、市町社会福祉協議会および関係機関・団体との協働により、一貫性をもった県民総参加運動としての『つなぐれボランティアの輪』推進運動』を実施しています。

このたびの東日本大震災発生において、国民誰もが、人との「つながり」の大切さを実感し、「今、私たちにできること」を考え、その思いを行動に移しています。

こうした中、本会では、今年度のサブスローガンを、～県民をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～とし、ボランティア活動を通じて「つながり合う」社会の「価値」や「豊かさ」を実感していただくことを目的に、各事業を展開しています。

なお、今年度は 17 の市町社協ほか 58 の関係機関・団体から、本運動の主唱に協力をいただいております。(7月11日現在)

また、今年は、社協制定 60 周年という節目の年を迎え、この 11 月 12 日～13 日には、県産業会館において「つながり」をメインテーマにした記念事業「つながりフェスタ 2011」が開催されます。エコキャップアートコンテスト応募作品はこの「つながりフェスタ 2011」会場に展示され、優秀作品は、ボランティア作文コンクールとともに、表彰式を行います。



エコキャップアートコンテスト

今年は、社協制定 60 周年にちなみ、60 組を募集しました。おかげさまで規定に達し締切らせていただきました。

サマーボランティア体験 2011

8月15日現在、334名の方が、161のメニューから選択され、活動を体験されています。期間は9月30日まで!

ボランティア作文コンクール

ボランティア活動の経験から得たことや感じたこと、自分の思いを 400 字詰原稿用紙 2 枚以内にまとめ、どしどしご応募ください。9月30日必着!

ボランティア・カフェ講座 No.1 「ブラインド@よりよい講座」

日時：9月11日(日) 13:00～15:30
場所：アオッサ7階ボランティア・カフェ
内容：アイマスクを装着しての街歩きで、見えない・見えにくい状態を体感し、自分にできることを考える。

対象：小学5年生以上
(小学生は保護者同伴)
定員：15名
参加費：無料



つながりの証「つながりリング」

推進運動期間中、各事業に参加されたみなさまには、本推進運動の主旨である「つながり」の証として、昨年に引き続き、「つながりリング」を差し上げております。

今年は、目にも鮮やかなスカイブルーで、みんなの思いをひとつに!との願いをこめ、「Let's unite as one!」のロゴ入りです。



ボランティア・カフェ講座 No.2 「バルーンアート@たのしむ講座」

日時：9月25日(日) 13:00～15:00
場所：アオッサ7階ボランティア・カフェ
内容：風船を使って動物やお花を作るバルーンアートの技術を修得し、ボランティア活動のきっかけづくりや活動の幅を広げる。

対象：一般県民
定員：15名
参加費：無料



『つながれボランティア』

スローガン「つながれ！ 80万人のボランティアの輪」

告知1 今年もランティーが大活躍！

福井ミラクルエレファントの後期優勝をかけた試合で、ランティーが登場します！！昨年度、後期優勝をかけた試合でランティーが始球式を努め、みごと！福井ミラクルエレファントが優勝を飾っています！

ランティー登場で、エレファントの後期優勝もまちがいなし！
たくさんの方のご来場をお待ちしています！

日時 9月25日(日) 17:00~

場所 福井フェニックススタジアム (vs石川戦)



告知2 巨大エコキャップアートイベント

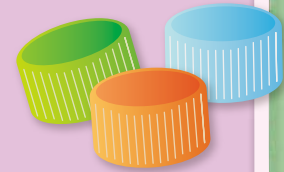
9月19日(月・祭)から、アオッサ4階アトリウムで展開する「巨大エコキャップアート」のデザイン画は、『つながり』をテーマに、仁愛女子短期大学 西畑敏秀教授の講座生の皆さんが、考案したものです。

期間：9月19日(月・祭)～9月30日(金)

場所：アオッサ4階アトリウム

内容：来場者の方に、デザイン画下書きの6～8畳分のパネルへ、思い思いの気持ちを込め、エコキャップでの巨大アートの完成を目指します。

※コンテスト後のエコキャップは、海外の子ども達へのワクチン購入資金として、「ふくいエコキャップ運動委員会」へ寄付します。 <参考>エコキャップ800個 ⇔ 1人分のワクチン



告知3 『つながれボランティアの輪』推進運動主唱協力団体一覧

本運動に、今年も市町社協初め、多くの関係機関・団体から主唱協力のご承諾をいただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、主唱協力団体名は、本会HPでもご紹介させていただいております。

主唱団体一覧 (50音順) (平成23年7月11日現在)

あわら市	(福) 敦賀市社会福祉協議会	福井県精神保健福祉協会
(福) あわら市社会福祉協議会	日本赤十字社福井県支部	福井県青年団体連絡協議会
(福) 池田町社会福祉協議会	ハートフル音楽会	福井県生命保険協会
株式会社ウララコミュニケーションズ	ふくいエコキャップ運動委員会	(NPO) 福井県セルフ振興センター
(福) 永平寺町社会福祉協議会	福井エフエム放送株式会社	みらい子育てネットふくい福井県地域活動連絡協議会
越前市	(NPO) 福井芸術文化フォーラム	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会
(福) 越前市社会福祉協議会	福井県	福井県知的障害者福祉協会
越前町	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	福井県聴力障害者福祉協会
(福) 越前町社会福祉協議会	福井県教育委員会	福井県農業協同組合中央会
(福) おおい町社会福祉協議会	(福) 福井県共同募金会	福井県PTA連合会
大野市	福井県公民館連合会	福井県婦人福祉協議会
(福) 大野市社会福祉協議会	福井県視覚障害者福祉協会	福井県ホームヘルプサービス事業者協議会
小浜市	(社) 福井県肢体不自由児協会	福井県民園保育園連盟
(福) 小浜市社会福祉協議会	福井県児童館連絡協議会	福井県民生委員児童委員協議会
勝山市	福井県児童養護施設連絡協議会	福井県老人福祉施設協議会
(福) 勝山市社会福祉協議会	福井県社会就労センター協議会	福井県老人保健施設協議会
坂井市	(社) 福井県社会福祉士会	福井市
(福) 坂井市社会福祉協議会	福井県社会福祉施設経営者協議会	(福) 福井市社会福祉協議会
(福) 鯖江市社会福祉協議会	福井県重症心身障害児(者)を守る会	福井テレビジョン放送株式会社
全国心臓病の子どもを守る会 福井県支部	福井県商工会連合会	南越前町
高浜町	(社) 福井県シルバー人材センター連合	南越前町ケーブルテレビ
(福) 高浜町社会福祉協議会	福井県心身障害児福祉団体連合会	(福) 南越前町社会福祉協議会
たんなんFM79.1	福井県身体障害者(児)援護施設連絡協議会	美浜町
丹南ケーブルテレビ株式会社	福井県腎友会	(福) 美浜町社会福祉協議会
敦賀市	福井県生活協同組合連合会	(福) 若狭町社会福祉協議会

主唱団体一覧は、ホームページに随時公開しています。(http://volunt.f-shakyo.or.jp/)

平成23年7月～11月 福井県社会福祉協議会



Q 地震や津波など自然災害の脅威は、社会福祉施設にとっても例外ではありません。確かに自然災害のリスクを事前に想定評価したり、それにマッチした予防策を講ずることは極めて困難なことです。一体施設としては、どのような防災対策を講ずればよいのか悩んでいます。

A 先ず、今回東日本を襲った未曾有の大地震と津波、併せてこれに起因する原子力発電所の事故には、本当にお見舞いの言葉すら失ってしまいます。ご質問のとおり自然災害を事前評価し、そのリスクレベルに応じた対策を講ずることは大変難しいと思います。ウェブを検索しますと比較的大きな自治体（府県）などでは、今回の災害を踏まえた「社会福祉施設の地震対策マニュアル」を策定周知するほか県社協でも「施設向けの災害対策の手引き」を作成しました。

ともあれ、リスクマネジメントはあくまでも自主的取組ですし、それでこそ実効ある活動となるものですから、「お上」任せではない、実情に即した危機管理対策とその実施手順の整備も急がれるところで。

そこで、この回答欄では当該対策確立のポイントをお示しいたします。参考とされる行政庁のガイドライン等と併せてご検討いただければ幸いです。

先ず、①施設設備の安全対策として、施設の地理的立地条件や建物の強度や危険性はいつでもチェック可能です。そして手を打てる部分は直ちに補強しておくことをお勧めします。

続いて②ライフラインの途絶を想定し、可能な限り飲料水や非常食、医薬品や日用品など、利用者や職員の命とくらしを繋ぐための「備蓄」が考えられます。さらに③非常時の職員や地域の協力者、利用者の家族の方などの参集、連絡、災害発生時の各自の職務分担などを成文として規定化し、この防災計画樹立、防災訓練の実施するほか、消防機関やその他の防災機関、協力団体等との連絡・連携体制の整備も忘れてはなりません。

以上のほか、施設が被災して避難所等での生活を余儀なくされることも想定し、このストレスもどう克服するか、日頃から考えておくことが重要です。今回の震災でも、どうか直接被災は免れたものの、その後避難生活のストレスで命を失った方も少なくありません。災害対策の意外な盲点ともいえるべきことですので、十分注意を払いたいものです。

《福祉事業所の皆様へ》
福祉サービス苦情解決機能強化セミナー

本セミナーでは、事業所における苦情解決機能をサービスの質の向上、利用者との信頼関係を深めるものとして捉え、利用者等からの効果的な「思い」の引き出しやその適切な対応等について深めていただきます。是非ご参加ください。

〔日時、場所〕

事業所所在地	福井市、大野市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町	敦賀市、小浜市、鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町、美浜町、おおい町、高浜町、若狭町
開催日・時間	平成 23 年 11 月 24 日 (木) 午前 10 時から午後 4 時まで	平成 23 年 11 月 25 日 (金) 午前 10 時から午後 4 時まで
開催場所	福井県自治会館 2 階 ホール (福井市西開発 4-202-1)	武生商工会館 4 階 ホール (越前市塚町 101 番地)
定員	100 名	100 名

- 〔対象〕 苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員
- 〔内容〕
 - 基調報告 (福井県運営適正化委員会)
「県内福祉事業所における苦情解決体制整備の状況等について」
 - 講義 (講師：東洋大学社会学部教授 高山直樹氏)
「福祉事業所に求められる苦情等の見方・考え方およびその具現化に向けて ～皆さんにとって“苦情”とは何ですか?～」(仮)
 - 演習 (指導：東洋大学社会学部教授 高山直樹氏)
- 〔費用〕 「苦情等への対応の実際 ～あなたならどうしますか～」(仮)
- 〔※切〕 受講者 1 人につき、2,500 円 (資料代)
本セミナーへの参加を希望される方は、10 月 24 日 (月) までに、下記事務局に所定の用紙にてお申込みください。(申込多数の場合は、先着順とします。)

〔お問合せ、お申込み先〕「福井県運営適正化委員会事務局」 TEL (0776) 24-2347 / FAX (0776) 24-8942

受験生の皆さん 試験対策は万全ですか？

介護支援専門員試験直前研修会 (模擬テスト) 開催のご案内

今年 10 月 23 日に開催される介護支援専門員実務研修受講試験に備えるための模擬テストを開催します。

◆日時と会場

平成 23 年 9 月 11 日 (日) 9:45 ~ 14:40
福井県立大学共通講義棟 1 階

◆対象者

「介護支援専門員実務研修受講試験」の受験資格を有する方

◆定員

100 人 (先着順)

◆参加費

5,000 円

◆申込締切

8 月 29 日 (月) まで。定員になり次第、募集を打ち切ります。

◆申し込みおよびお問合せ先

社会福祉法人福井県社会福祉協議会 福祉の人づくり支援課
TEL: 0776-21-2294 FAX: 0776-24-4187
E-mail: kenshu@f-shakyo.or.jp

ホームページから詳細がご覧いただけます。
<http://www.f-shakyo.or.jp>

私たちが お近くへお伺いします。福祉の仕事のお助け隊 キャリア支援専門員。



移動相談会のお知らせ

県内各地で、福祉の仕事に関心のある方、福祉分野への就職や転職をお考えの方などを対象に、福祉の仕事や資格、福祉職場への就職について、キャリア支援専門員が相談をお受けします。
この機会をぜひご活用ください。

事前申込
不要

無料
相談会

平成 23 年度 日程・会場

日程・曜日・時間	会場	住所
毎週火曜日 13:00 ~ 16:00	武生西公民館・別館	越前市中央 2 丁目 8-16 ハローワーク武生南側
毎週水曜日 13:00 ~ 16:00	三国社会福祉センター 1 階会議室	坂井市三国町中央 1-6-3 ハローワーク三国近く
毎週金曜日 13:00 ~ 16:00	大野地域職業訓練センター 2 階第 2 研修室	大野市中挟 1-1601-1
第 2・第 4 木曜日 13:00 ~ 16:00	小浜地方合同庁舎 4 階会議室	小浜市後瀬町 7-10 ハローワーク小浜 4 階

上記の他に、敦賀市福祉総合センターあいあいプラザ内 (敦賀市東洋町 4-1) でも実施します。(不定期)

お気軽にご相談ください。

個人向け支援 (職業相談・求人紹介・資格取得・キャリアアップ)
事業所向け支援 (人材紹介・求人広報・人材確保・人材定着)

問い合わせ先 福井県社会福祉協議会 福井県福祉人材センター
福井県福井市光陽 2 丁目 3-22
TEL (0776) 21-2294 FAX (0776) 24-4187



ソウェルクラブ 平成 23 年度会員交流事業

平成 23 年度下半期行事予定表

月 日	事業名	開催場所	備考
10 月 29 日	美輪明宏	福井市文化会館	申込受付中
10 月	シネマ DE ランチ券 1 回目	★サバエシティーホテル アレックスシネマ ★ユアーズホテル テアトルサンク	9 月頃案内予定
11 月	JR で行く USJ 日帰り旅行	USJ	10 月頃案内予定
11 月	ケーキバイキング	ユアーズホテル	10 月頃案内予定
12 月 4 日	東海北陸ブロック合同開催 シルク・ドゥ・ソレイユ「クーザ」	愛知県	9 月頃案内予定 11 月頃案内予定
12 月	コロナワールド映画観賞券幹旋	コロナワールド	11 月頃案内予定
12 月	アレックスシネマ映画観賞券幹旋	アレックスシネマ	11 月頃案内予定
12 月	スキージャム勝山 リフト券	スキージャム勝山	12 月頃案内予定
1 月	白石薬品家庭常備薬幹旋		12 月頃案内予定
2 月	シネマ DE ランチ券 2 回目	★サバエシティーホテル アレックスシネマ ★ユアーズホテル テアトルサンク	1 月頃案内予定
随 時	シダックス会員券発行 (お得なサービスを多数ご用意しております)	シダックス	

都合により、予定を変更することがあります。

ソウェルクラブ福井事務局では、社会福祉に従事する皆さんが心と体をリフレッシュし、生き生きと活動して頂けるよう、年間を通じて様々な会員交流事業を行っています。これまでも、多数のコンサートチケットの幹旋や日帰り旅行などを行い、会員の皆様から好評をいただいております。

現在募集中ならびに現在企画中の行事予定をお知らせいたします。また、この他にも FOB 企画、キョードー北陸、劇団四季等よりチケット先行予約ならびに割引案内を随時ご案内しますので、ぜひ、ご家族、ご友人などをお誘い合わせの上ご参加ください。(各事業の参加申込書等は、その都度会員施設あてに送付致します。)

ソウェルクラブに加入しませんか？

加入できる職員 ▶ 社会福祉事業に携わる常勤の役員
▶ 非常勤職員、嘱託職員、パートタイマーなどの職員及び法人の非常勤役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業に従事する職員も加入できます。

掛 金 ▶ 掛金は職員一人当たり毎年度 1 万円です。

契約期間 ▶ 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年契約で、退会の申し出がない限り契約が更新されます。

問い合わせ先 ▶ ソウェルクラブ福井事務局

福井県社会福祉協議会 総務企画課

〒910-8516 福井市光陽 2 丁目 3-22

TEL 0776-24-2339

FAX 0776-24-8941

未来に笑顔



Profile

藪上 めぐみ さん

(福) 美浜町社会福祉協議会
小規模多機能居宅介護事業所「吉右衛門さん家」
介護福祉士 12年目

このコーナーでは、「笑顔（スマイル）」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。



きつげは、担任の先生の一言。

私は、高校の卒業式ギリギリまで進路が決まっていませんでした。自分の思いとしてはコンピュータ関係の専門学校に進学を考えていましたが、担任の先生にそのことを言うと「コンピュータの方面は向いてないと思う。」とバツサリ。その他に考えていた進路に対しても「無理じゃないか。」と厳しい言葉しか返してもらえませんでした。

ところが、先生からは「4月から福井に介護福祉士の養成学校が開校されるので、そこを受験してはどうだろう」とのアドバイスが。当時は、高齢者の増加に伴い、新しい施設も増え、介護職の需要もありました。学校の卒業と同時に現場で率先力として働ける分野であり、介護福祉士の資格も取得できるとあって、先生も親も強く進めてくれました。自分としては、このまま大人の敷いたレールに乗ることが悔しくて、反発もしましたが、結局、専門学校への進学を決めました。

利用者さんを第一に



最初の頃は、利用者さんとコミュニケーションがうまくとれないこともありました。まずは利用者を第一に考えるようにしています。一人ひとりの生活のベースはそれぞれに違うので、できるだけ利用者さんの状況に合わせて心がけています。

実際には言葉や態度に表さないと相手に伝わらず実感できないものですが、日々をとともに過ごす中で、利用者さんの思いを少しずつ受けとめて、言葉とその背景にある思いを大切にしていきたいと思っています。

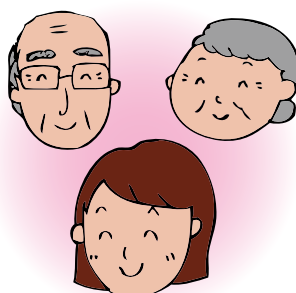
今の目標

現在、介護支援専門員の資格取得を目指して勉強中ですが、資格を取得した後にも利用者さんの良き理解者になれるように。そして、利用者さんやその家族の皆さんが安心できるように、これからも努力していきたいと思っています。

笑顔の素

やはり、利用者さんの笑顔です。

言葉が通じなくても表情を見ると気持ちが表れていることがわかります。利用者さんが笑顔でいてくれるとこちらも笑顔でいられます。



取材を終えて

気負わず自然体で利用者さんと接する姿は、ほのぼのしていて周りの人たちまで温かい雰囲気になさてくれます。

「私は夢見る少女みたいなのところがある」んだそうですが、先生との進路指導のエピソードも含め、大人たちは彼女の将来を親身に考え、叱咤激励していたのかもしれない。「大人の敷いたレール。今では乗ってよかったと思っています。そして、とても周りの人に恵まれている人生だと思っています」と終始笑顔で語ってくれました。

いつかは、後進を導くレールを敷いていくような素晴らしい専門職になられることを期待しています。